

(1) 農林業、被害軽減に向けた取り組みの実施

天然記念物奈良のシカの生息範囲、特にC・D地区では鹿による農作物被害（鹿害）が深刻化している。

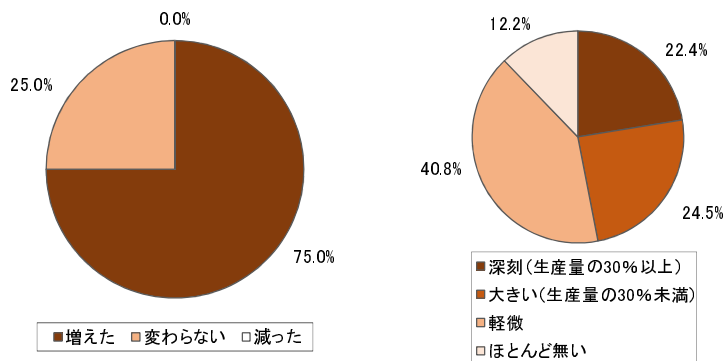
奈良のシカ保護管理計画検討委員会において十分に議論を深め具体的な保護管理対策を構築していく一方で、農林業被害等、緊急を要する被害対策については、実情に応じて迅速に対応していく必要がある。

このため、天然記念物奈良のシカを保護管理しつつ、農林業被害の軽減策である「防鹿柵設置」の詳細（仕様、設置方法等）を提案するとともに、実証実験としてC・D地区に防鹿柵を設置し、その効果を検証する。

検討・実施事項：

- 防鹿柵設置の詳細提案（仕様、設置方法等）
- 試行実験（C・D地区における防鹿柵の設置・検証）

「平成24年度調査 5年前と比べた農業被害状況」



出典：平成24年度奈良のシカ生息状況調査報告書



(2) 農林業被害軽減に関するワーキンググループによる検討

天然記念物奈良のシカによる農林業被害の軽減を図るため、①農林業への被害状況、②防鹿柵の設置状況、③（一財）奈良の鹿愛護会・奈良公園のシカ相談室による対応状況など、実態を踏まえた検討が必要である。また、具体的な軽減策となる防護柵の提案・設置に向けて、日周行動等、④シカの行動パターンに応じた、⑤防鹿柵の機能と効果を検証する必要もある。

このため、農林業被害軽減に関するワーキンググループを設置して、上記の項目に精通した有識者や関係者を交えながら、効果的且つ効率的な被害軽減を検討することとする。

なお、ワーキンググループの検討成果については、適宜、奈良のシカ保護管理計画検討委員会に諮ることとする。

